

事務事業・業務見直し行動計画

所 管 名	まちづくり推進課	課 長 名	竹中次郎
事務事業名	統計事務		
業務改善方策	外部化の推進	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民営化・民間移譲 <input type="checkbox"/> 補助制度 <input type="checkbox"/> 人材派遣 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・嘱託	
	業務の効率化	<input type="checkbox"/> 内容 ()	
	業務の簡素化	<input type="checkbox"/> 共同 <input type="checkbox"/> 集約 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	組織の見直し	<input type="checkbox"/> 新たな部署 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他 ()	
取り組み内容	<p>各種統計調査の際の1次審査にあたり、調査員から提出される記述等の単純ミスをチェックする作業において、特に大規模統計調査では、職員にかかる負担が大きくなり、膨大な量の調査票を短期間で審査しなければならないため臨時・委嘱職員を雇用し効率的に行う。(処理時間3人×5日×8時間=120時間)</p>		
実施時期	平成22年4月	関連事務	大規模統計調査における事前準備事務
見直し人員	所属職員数	3	現行人件費 (内容について具体的に記載のこと。) <small>業務人役120時間÷2,120時間=0.056人役 見直し人件費 120時間×3,211円/時間=385,320円</small>
	見直業務人役	0.056	
実施効果		金額(千円)	内容
	実施に伴う削減額	385	
	実施に伴う経費(の(20)%に相当)	78	一般軽作業女性時給650円×120時間
	実施に伴う効果額(-)	307	

【実施に向けた年度別計画】

実施項目	H22	H23	H24	H25	H26
該当統計選定	⇒				
見直し実施	⇒				

課題・問題点	<p>統計事務は守秘義務があり調査情報の漏洩がない様な進め方を行わなければならない。 審査方法のマニュアル作りが必要である。 アルバイト登録制度の活用</p>
--------	---